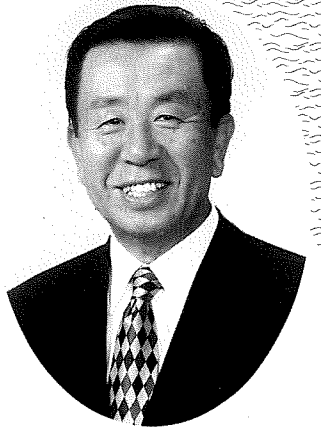


社報によせて



衆議院議員 奉賛会長 石川 要三

この度、社報「武州みたけ」第十三号の刊行の運びとなりました。日頃、武蔵御嶽神社の関係者の皆様には大変お世話に相成り、厚く感謝申し上げます。次第でございます。

さて、ご承知の様に武蔵御嶽神社は、近郷はもとよりその山頂はるかに見渡す武州一円から果ては甲信越に至る迄御嶽講が組織され、多くの人々の崇敬をうけ乍ら、今日に至る間隆々と栄えて参りました。

この事が講中の人々の心の支えとなり、農耕者・商人そして一般の参拝者の守護神としての存在は、大変大きなものとなって参りました。

これ等はひとえに、御師諸先生の真摯な御活動はもとより、多くの関係者の御努力の賜物と深く敬意を表すると共に、今更乍ら御嶽大神の御利益の偉大さにふれる思いでございます。

私も不肖乍ら奉賛会長の重責を汚させて戴き、誠に身に余る光栄の事と感激致している所ではありますが、この上は微力乍ら御嶽大神の御加護のもと、奉賛の誠をつくす所存であります。

終りに、御師諸先生の皆様には一層の布教に精進され、あまねく人々に御嶽大神の御加護を賜ります様御願ひ申し上げますと共に、益々の御繁栄を祈念いたします。

(奉賛会長紹介)

- 大正14年 元府議會議員・岩波光二郎の5男として生まれる。
昭和26年 早稲田大学政治経済学部卒業
昭和34年 青梅市議會議員・当選2回
昭和40年 青梅市議会副議長
昭和42年 青梅市長・当選3回
昭和51年 衆議院議員・当選6回
環境政務次官
外務政務次官
衆議院・内閣委員長
昭和61年 衆議院・予算委員長
平成元年9月 武蔵御嶽神社奉賛会長
平成2年2月 国務大臣 防衛庁長官
平成3年6月 自由民主党東京都支部連合会会長
平成4年12月 衆議院・予算委員長 理事
平成10年8月 衆議院労働委員会 委員
平成11年6月 自由民主党東京都支部連合会会長 再任
現在に至る

永代参拝記念碑建立に思う

飯能市双柳講世話人 鈴木 義男

平成十一年五月三十日、当講中の永年の願いであった永代参拝記念碑建立が叶いほつとしていたるところです。

バブルがはじけ不況・リストラの風が吹きすさぶ中ではありましたが、当講中の霊山みたけに対する信仰心は篤く、講中・講外より多くの浄財の申し出を賜り記念碑建立に臨むことができました。平成十年、山が凍てつく前の晩秋に起工し本年五月の除幕に向けて講長の島田保を中心とした十名の世話人が気持ちを整え鋭意準備を進めてまいりました。

当日は天気にも恵まれ除幕式には五十七名の講員の出席を得て斎主 須崎直衛宮司のお力をお借りして式が執り行われました。御師先導で大鳥



して拝殿に於いて式典を、神楽殿に移動して神楽拝観、御師宅にて直会に至る一連の式を滞りなく行うことができました。

居前での満喜錢を行い、ハイカーの行き交う中ではありましたが除幕式を厳粛のうちに済ますことができました。そ

さて霊山みたけも近年観光スポットとして新聞紙上に取り上げられており、時代の変遷を感じさせられます。当講の位置している飯能市双柳にも都市化の波が押し寄せつても未だ里の雰囲気を残しています。大口真神のお札が野菜畑に立っている風景も昔ながらのものであります。

今回の記念碑建立という事業をとおして、みたけ山ご祭神の守護と安寧を願う真摯な気持ちに講員の胸中に確認できたことも、役員として大きな喜びでありました。本事業の執行にあたり関係神職の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げますと共に貴神社のご発展を祈念申し上げます。

太々神楽奏上講

(平成10年6月1日〜平成11年5月31日)

- 東京 八王子市高尾両山講
埼玉 新座市員沼講
東京 社団法人青梅法人会
東京 はらしま会
東京 株式会社荒井電業社
東京 保谷市豊栄講
東京 練馬区石神井台沼辺講
神奈川 横浜羽沢御嶽講第四区
神奈川 川崎市新城講
神奈川 川崎市馬絹講
埼玉 大宮市清河寺御嶽講
東京 あきる野市菅生講
東京 青梅市下長瀬御嶽講
東京 世田谷区石井戸講
東京 青梅市今寺講
神奈川 愛川町角田上組講
茨城 十王町十王講
神奈川 秦野市秦野太々講
埼玉 日高市和田講
東京 江戸川区船堀太々講
千葉 松戸市松戸御嶽講
東京 狛江市和泉原親睦会
東京 大田区六郷参拝講
神奈川 川崎市高津区末長講
神奈川 川崎市宮前区平講
神奈川 川崎市中原区宮内講
埼玉 川越市藤間講
東京 仏法僧と探鳥の集い
埼玉 飯能市一丁目永代講
東京 府中市屋敷分講
埼玉 飯能市双柳講